

教材教具および題材	学部	授業名 (主たる教科領域)	執筆者
壁面（花作り） ～卒業生の教室を飾ろう～	小	学級活動 5年 (図工・自立活動)	河合和代 柳谷哲也

<ねらい>

- ☆課題に応じて、指先をしっかりと使ったり、いろいろな道具を使ったりしながら楽しんで花作りをする。
- ☆卒業に向けて、6年生の教室の壁面を5年生みんなで製作する。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ・学年で大きく二つの課題に分けて学習を行い、一つの壁面を製作していった。

Aグループ（4名）

- ①障子紙にクレヨンで描く。
- ②①の紙に霧吹きを使って色付けする。（花用と茎や葉っぱ用）
- ③乾いたら、指先を使って破る。
- ④花の型紙にスティックのりを塗り、③の紙を貼る。
- ⑤大きな障子紙に花や茎、葉を貼っていく。



Bグループ（4名）

- ①「そつぎょうおめでとう」の文字を筆で書く。
- ②3種類の花を作る。
(五角形の花) Aグループが染めた紙で折った折り紙に描かれている曲線をはさみで切る。
(ペーパーフラワー) 重なった色花紙を一枚ずつめくり、広げていく。
(チューリップ) 色紙を自分で選び、チューリップを折っていく。
裏側からセロハンテープで留めて壁面に貼った時に浮かないようにする。
- ③Aグループが染めた茎用の紙に書かれた線をはさみで切っていく。
- ④切った茎は、筆にボンドをつけ、大きな障子紙に貼っていく。障子紙の印を意識しながら貼る。
- ⑤茎の上部に作った花をボンドで貼っていく。
※ペーパーフラワーは全体の扉の飾りに使う。
※文字は教師がバランスを見ながら貼る。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・5年生は2クラスあり、学級で「つくる・えがく」活動をするとう課題が異なりすぎて活動がうまく流れにくい。そこで、1学期から二つの課題に分けて「つくる・えがく」学習を行ってきた。個々に作った作品や部分を最後は一つの作品に合わせ、大きな壁面作りに仕上げていった。教室も二つに分けて取り組むことでそれぞれの課題に気持ちを向けて取り組むことができた。8人が一つの作品を作っていることを意識できるように、仕上げは一つの教室に集まって活動することもある。この作品は3学期に作った作品だが、活動の形態にも慣れていて、スムーズに取り組みに入っていくことができた。道具を使う際も、それぞれの課題に合った道具の使い方ができ、支援の仕方もより児童に合った工夫ができた。BグループはAグループの作った物を使うことで一つの作品を作ることをより意識できた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- 障子紙、絵の具、両面テープ、ボンド、ペーパーフラワー（100円ショップ）、色紙、筆、霧吹き



